

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業		
事業の実施者	事業者	(法人名) アスメック株式会社	
	行政	横浜市市民局地域活動推進課	
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況下においても、地域の絆をつなぎ、自治会町内会活動を継続・活性化していくため、ICTを活用した新しい活動スタイルを支援する。		
事業の内容	ICTを活用した会議、情報伝達等を体験する講座の実施、相談対応 等		
役割及び責任 分担等	必須項目	事業者の役割	横浜市の役割
	オンライン会議、LINEその他のツールを使った情報伝達・共有等の体験	<ol style="list-style-type: none"> 1 講座の企画及び実施 2 参加団体との連絡調整 3 会場設営、運営サポート 4 会議ソフトやLINE等の活用方法紹介 5 上記に係る相談及び講座資料の配布 6 参加者アンケートの実施、集計、実施報告書の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業広報、事業者提案とりまとめ 2 地区連合町内会との連絡調整 3 参加団体募集、とりまとめ 4 講座の企画・実施協力 5 アンケート全体分析
	ICT活用に関連した相談対応	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談会の企画及び実施 2 電話・メール等による質問、相談対応 3 相談対応記録の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区連合町内会との連絡調整 2 相談会の企画・実施協力 3 相談事例のまとめ、紹介
	今後のICT活用に向けた提案	ICT活用に向けての課題整理、活用手法の提案	ICT活用に関する今後の支援策の検討
実施期間	令和2年10月12日～令和3年4月18日		

記入日	令和3年	5月	11日
・団体等名：	アスメック株式会社		
・記入責任者氏名	齋藤 篤彦		
連絡先：	045-910-0810		
・部署名：	市民局地域活動推進課		
・記入責任者氏名	木村 剛・荒木 愛里沙		
連絡先：	045-671-3624		

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

	事業者	横浜市
この事業の目的やミッションを互いに共有し、理解することができたか。	A	A

②事業実施段階

	事業者	横浜市
互いの役割を自覚し、強みを生かしながら、積極的に取り組むことができたか。	A	A
参加者のニーズや事業の進捗に応じて、臨機応変に対応しながら取り組むことができたか。	A	A

③ふりかえり段階

	事業者	横浜市
参加者が満足を得られたかどうかについて、互いに結果を共有し、確認できたか。	A	A
事業目的を達成するため、互いが役割を果たし、期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

「2 事業実施プロセス相互チェックシート」の結果をもとに相互に本シートを作成し、まとめます。

事業の計画づくり (事業の計画段階で、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはありますか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 計画の段階で、お互いの出来る事、やって欲しい事を話し合いで理解した。その結果自治会側の希望に合った計画作成が出来ました
【今後改善が必要と思われること】 講習を受ける側の自治会様の PC 及びスマホの操作・認識・活用レベルをよく考えないと、講習自体の意義が薄れてしまうので、そこをもう少し考慮したほうが良いと感じました。具体案：回数を増やす、レベル別に内容を変更する 開催までの準備期間が取れたので、自治会が用意した ipad タブレット 10 数台の初期設定等にも当社側にて設定、準備を整えました
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 講習生一人一人の知識に差がある事は初めから分かっていたが、「全員が出来るまで」のテーマを設定したことで、出来る方が我慢して、皆が揃うまで待つこと等の協力が得られたことでした。また、3 回の講習にて、いつも前回の復習から始めた事も、皆に評価された気がします。
【今後改善が必要と思われること】 講習会を行う自治会館等に ICT を導入するには、WiFi ネットワークの環境が不可欠です。横浜市の予算をこれらのネットワーク機器、プレゼン表示モニター、ハイスペック PC 等、最低限の ICT 設備の配置は不可欠であると思います
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、得られた成果はありますか。また、事業全体を通して、当初期待された事業効果は得られましたか)
もともと、この自治会とは、区の自治会ページや SNS 使用の自治会用システムの開発を手掛けましたので、お互いの認識が一致すると云うか、こちらに合わせていただいた部分も多々あったとおもいます。今後も色々な講習会を期待されているかと、感じております。
自由記入欄

横浜市：前例のない事業ということで、事業を進めながらスキームも微修正するという中で、協働事業者の皆様には多大なご負担をおかけしました。事業者の皆様からいただいた意見も踏まえ、今後の地域支援につなげていきたいと考えています。